

令和8年度第6回奈良市総合計画審議会会議録			
開催日時	令和8年5月27日（水）午前10時から午前10時40分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 地下1階 地下1階会議室		
出席者	委員	伊藤忠通会長、大窪副会長、大方委員、原田委員、藤井委員、山下委員【計6人出席（うち3人はオンライン）】（赤沢委員、安藤委員、伊藤隆司委員、作間委員は欠席。）	
	奈良市	仲川市長、鈴木副市長、真銅副市長、教育長、企業局長、危機管理監、総合政策部長、CIO、総務部次長、法令遵守監察監、市民部長、福祉部次長、子ども未来部長、健康医療部長、健康医療部理事、環境部次長、環境都市推進部長、都市整備部長、建設部次長、消防局長、教育部長、観光戦略課長 【事務局】総合政策課職員	
開催形態	公開（傍聴人5人）	担当課	総合政策部総合政策課
議題 又は 案件	1 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）パブリックコメントでの意見への対応について 2 第2回市民デジタルアンケートでの意見への対応について 3 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）の答申について		
決定又は 取り纏め 事項	1 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）パブリックコメントでの意見への対応について、審議を行った。 2 第2回市民デジタルアンケートでの意見への対応について審議を行った。 3 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）について審議を行った。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
1 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）パブリックコメントでの意見への対応について <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）パブリックコメントでの意見への対応について【資料1】を基に説明。 ・ 大窪副会長より、パブリックコメントでの意見への対応については、【資料1】の形式に事務局が説明した補足も含めた形で公表するのか。 ・ 事務局より、【資料1】の形式で、市ホームページで公表する。 ・ 大窪副会長より、結果として文面修正はしないとのことであるが、補足内容も含めた丁寧な説明の方が良い。 ・ 事務局より、市ホームページでは補足内容も含めて公表する。 			
2 第2回市民デジタルアンケートでの意見への対応について			

- ・ 事務局より、第2回市民デジタルアンケートでの意見への対応について【資料2】を基に説明。
- ・ 大窪副会長より、【資料2】1ページ、4ページについて、広聴AIにより市民の共通の願いが6項目に絞られたプロセスや、重点分野4つに対する関心度を示すヒートマップの段階分けについて、資料に補足説明を含めるべきではないか。市民に対してプロセスが透明化されるべきである。
- ・ 事務局より、デジタルアンケートを市ホームページで公表する際には、ご指摘いただいた点を補足する。

3 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）の答申について

- ・ 事務局より、後期推進方針の変更箇所について【資料2-2】【資料3-2】を基に説明。
- ・ 大窪副会長より、アンケートの対象は市民中心であるところ、市外在住の通勤・通学者や観光客を含めた帰宅困難者対策が重要であるため補足するべきではないか。
- ・ 危機管理監より、後期推進方針（案）（【資料3】108ページ）において、帰宅困難者への体制強化を盛り込んでいる。
- ・ 大窪副会長より、「帰宅困難者」に通勤・通学者や観光客が含まれることが分かる記載にすべきである。
- ・ 大方委員より、デジタルアンケートを踏まえ「地域の教育環境と子ども向け施設の充実による未来の育成」が重点分野1に反映されたことは良い。アンケートでは、学費や遊び場など多様な論点が出ているため、今後具体的に取り組んでほしい。
- ・ 大窪副会長より、【資料2】4ページのヒートマップについて、全体（総計）での関心分野についても文章として記載すると良いのではないか。
- ・ 事務局より、審議した案は答申として伊藤忠通会長から市長に提出される予定である。総合計画審議会は、本日をもって終了する。
- ・ 伊藤忠通会長より、委員より後期推進方針の修正に関する意見がある場合、会長まで一任いただきたい。
- ・ 伊藤忠通会長より、広聴AI等を用いながら、後期推進方針は市民意見が反映されたものとなった。委員の皆様には半年にわたる審議へのご協力に感謝する。後期推進方針をもとに施策を進め、より良い奈良市となり、『わたし』からはじめる『わたしたち』のまち 奈良」というまちの姿が実現することを願う。
- ・ 仲川市長より、半年にわたる議論に感謝する。世界情勢の変化は激しく、AIをはじめとした、働き方やライフスタイルを大きく変える可能性のある技術の進歩に伴い、法律・制度など目に見えない社会インフラの更新などが急務となっている中、幅広い分野からご意見をいただくことができた。後期推進方針では、一条高校でのワークショップやデジタルアンケート（広聴AI）といった新たな方法を取り入れた。本計画の計画期間である5年間の社会や奈良の変化について、その全てを見通すことは困難だが、目の前の課題と一歩先の課題の両方を見ながら、時間がかかる課題については今日から一歩踏み出すという時間軸をきちんと持ち、成果を積み上げて

いきたい。事業を進める上では、今後とも皆様方それぞれの専門領域からのご指摘や進捗へのご意見などを頂戴したい。

以 上

資 料	<p>【資料1】 奈良市第5次総合計画後期推進方針（案）パブリックコメントでの意見と対応一覧</p> <p>【資料2】 2031年の奈良市を創る「4つの重点分野」チェックアンケート（生成AI活用）概要</p> <p>【資料2 - 2】 後期推進方針 アンケートによる変更箇所対照表</p> <p>【資料3】 奈良市第5次総合計画後期推進方針（修正案）</p> <p>【資料3 - 2】 後期推進方針 時点修正箇所対照表</p>
-----	---